

分子情報画像解析学

2 単位

久保均・准教授 / 保健学専攻

【授業目的】 生体機能あるいは病態の可視化手法および解析手法を学習するが、臨床で用いられている in vivo 用画像診断技術ばかりでなく ex vivo, in vitro での測定・解析手法なども範囲とする。

【授業概要】 可視化および解析対象となる生体機能や病態の理解について学んだ後、現在用いられている各種画像診断法や測定法の原理およびそれらの最新動向等について習得する。

【到達目標】 生体機能の可視化・解析手法を理解し、応用できる。

【授業計画】

1. 生体機能とは (1)
2. 生体機能とは (2)
3. 生体機能とは (3)
4. 病態とは (1)
5. 病態とは (2)
6. 画像診断技術 (1)
7. 画像診断技術 (2)
8. 画像診断技術 (3)
9. 画像診断技術 (4)
10. 画像診断技術 (5)
11. 画像診断技術 (6)
12. 画像解析技術 (1)
13. 画像解析技術 (2)
14. 画像解析技術 (3)
15. まとめ

【成績評価】 受講態度およびレポート等により評価する。

【教科書】 なし

【参考書】 講義時に紹介します。

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=216991>

【連絡先】

⇒ 久保 (088-633-9059, kubo@medsci.tokushima-u.ac.jp) MAIL